

KENWOOD

VHF FM 無線電話装置

TCP-123

UHF FM 無線電話装置

TCP-223-360

UHF FM 無線電話装置

TCP-223-400

UHF FM 無線電話装置

TCP-223-450

UHF FM 無線電話装置

TCP-523

取扱説明書

お買いあげいただきましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

本機は日本国内専用のモデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

もくじ

機種一覧表	3
安全上のご注意	3

準備編

梱包品の確認	5
バッテリーパック（オプション）の取り付け / 取り外し	5
バッテリーパックについて	6
アンテナの取り付け	7
ユニバーサルコネクタのカバー取り付け	7
スピーカーマイクロホン / イヤホン付クリップマイクロホン （オプション）の接続	7
ショルダーベルト（オプション）の取り付け	7
ベルトフック（オプション）の取り付け / 取り外し	7
ハードケース（オプション）の取り付け	7
各部の名称	8
ディスプレイ	9

基本操作

待受受信操作	10
ボリュームを調節する	10
送信操作	10
閉局する	10

使いこなす

キー操作できないようにする	11
ディスプレイの照明を点灯させる	11
エマージェンシー	11
メニュー機能	12
プライオリティースキャン	13

使いこなす

データ専用チャンネル	13
セレコール機能	14
個別呼び出し	14
グループ呼び出し	15
グループ設定	16
セレコール番号について	16
一斉呼び出し	17
一斉割り込み呼び出し	18
不在着信	19
メッセージ伝送	20
セレコールメッセージメモリー	21
セレコールメッセージ自動応答	22
ワンタッチセレコール番号呼び出し	22
その他の機能	23

運用上の注意

免許状	25
使用上の制限	25
免許の有効期限	25
免許の申請その他の手続き	25
故障かな？と思ったら	25
症状と処置	25
アクセサリー（オプション）	26
定格	26
メモ欄	27
保証とアフターサービス	裏表紙

機種一覧表

本書は、下記の簡易無線機と一般業務用無線機を、共通に説明しています。

簡易無線機/小エリア簡易無線機 (TCP-523)

周波数帯	150MHz帯	300MHz帯	400MHz帯
機種名	TCP-123CT	TCP-523	TCP-223CT
送信出力	1~5W	0.2~1W	1~4W

法令により自動識別装置(ATIS)を内蔵しています。

一般業務用無線機

周波数帯	150MHz帯	400MHz帯
機種名	TCP-123FT	TCP-223FT
送信出力	1~5W	1~4W

封印について

簡易無線機 (TCP-523を除く) には封印が施されています。この封印をはがすと、電波法によりその機器は使用できなくなりますので、絶対にはがさないでください。

免責事項について

商品の故障・誤動作などにより、利用の機会 (通話など) を逸したために発生した障害などの付随的損害については、当社は一切その責任を負いかねます。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」と取扱説明書をご使用前によくお読みください。お読みになった後は必要に応じてご覧になれるように大切に保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意 (警告を含む) が必要な内容があることを告げるものです。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) を示しています。



●記号は、必ず守っていただきたい内容を告げるものです。



警告

使用環境・条件



運転しながら交信しないでください。

交通安全上、危険です。

病院等では、電波により医療用電気機器 (手術室、集中治療室等) に影響を与えることも考えられますので、医療用電気機器の近くでは使用しないでください (電源も入れないでください)。

警告



航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では、使用しないでください(電源も入れないでください)。

運行の安全や無線局の運用・放送の受信に支障をきたす恐れがあります。



この製品を使用できるのは、日本国内のみです。外国では使用できません。

使用方法について



長時間の連続送信はしないでください。

本体の温度が上昇して、やけどの原因となります。



アンテナのごく近くに入・動物・ペット等がいるときは、電波を放射しないでください。



やけど、目の異常の原因となります。



この製品に水をかけたり、水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。



火災・感電・故障の原因となります。



この製品を水などでぬれやすい場所(風呂場など)では使用しないでください。



火災・感電・故障の原因となります。

この製品の近くに、小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。



こぼれたり、中に入った場合、**火災・感電・故障の原因となります。**

この製品は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。

火災・感電・故障の原因となります。

異常時の処置について



以下の場合、すぐに電源スイッチを切り、バッテリーパックを本体から取りはずしてください。

異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。お客さまによる修理は、危険ですから絶対におやめください。

- ・異常な音が生じたり、煙りが出たり、変な臭いがするとき
- ・落ちたり、ケースを破損したとき
- ・内部に水や異物が入ったとき



雷が鳴り始めたら、安全のため早めに電源を切り、充電器をご使用の場合はACコードをACコンセントから抜いてご使用をお控えください。

雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。

保守・点検



この製品のケースは開けないでください。

けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



注意

使用方法について



テレビやラジオの近くで使用しないでください。



電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。



直射日光の当たる場所や、ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。



ケースや部品が変形したり、火災の原因となります。



湿気の多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。



火災・感電・故障の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。



落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。

火災・故障の原因となることがあります。

アンテナを誤って目にささないようにしてください。

アンテナを接続しない状態で、送信しないでください。

火災・感電・故障の原因となることがあります。

ユニバーサルコネクタには、オプションのマイクロホン以外は接続しないでください。

故障の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源を切りバッテリーパックやバッテリーケースを本体から取り外してください。

保守・点検



お手入れの際は、安全のため必ず電源を切り、バッテリーパックやバッテリーケースを本体から取り外してください。

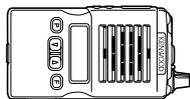


火災・感電・故障の原因となります。

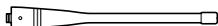
水滴が付いたら、乾いた布で拭き取ってください。

梱包品の確認

梱包品がすべてそろっていることを確認してください。



無線機



アンテナ



カバー

取扱説明書 (本書)

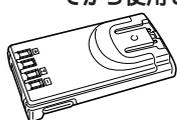
保証書



- ・アンテナの形状は機種により異なります。
- ・小エリア簡易無線機のアンテナは本体に固定されています。

電源について

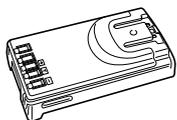
本機を使用するには専用のバッテリーパック (オプション) が必要です。なお、バッテリーパックは専用の充電器 (オプション) で充電してから使用してください。



ニッケル水素
バッテリーパック
(標準)
KNB-18N
(7.2V, 750mAh)



ニカドバッテリー
パック (大容量)
KNB-19
(7.2V, 1500mAh)



リチウムイオン
バッテリーパック
(大容量) KNB-23L



バッテリー
ケース
KNB-3



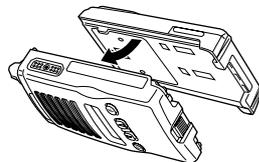
- ・ニッケル水素、ニカドバッテリーパックが完全に充電されている状態では、再充電を行わないでください。この状態で再充電を行うと、バッテリーパックの寿命が縮まったり、破損することがあります。
- ・ニッケル水素、ニカドバッテリーパックの充電後は、バッテリーパックを充電器から抜き取ってください。充電後、バッテリーパックを充電器に放置したまま充電器の電源を切り、しばらくしてからまた電源を入ると、バッテリーパックはもう一度充電され、過充電状態になってしまいます。
- ・バッテリーパックの端子をショートさせたり、バッテリーパックを火中に投げたりしないでください。また、バッテリーパックを分解しないでください。
- ・満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、電池の寿命です。このまま充電を繰り返すと、液漏れの原因となることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。
- ・バッテリーパックの特性について
 - ・充電電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
 - ・使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
 - ・高温状態で充電を行ったり、無線機を使用すると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置きっぱなしにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。



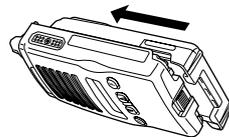
- ・お買い上げ後または長期間保存後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- ・バッテリーを初めて使用する前には、必ず充電を行ってください。お買い上げ後または長期間保管後に、バッテリーの容量が低下してしまった場合は、充電/放電サイクルを2、3回繰り返すと通常の充電容量を回復することができます。充電に際しては、充電器の取扱説明書をお読みください。

バッテリーパック (オプション) の取り付け取り外し

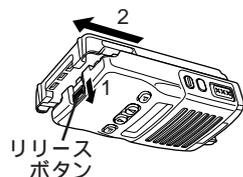
1. バッテリーパック内側の2つのガイドを本体裏面のみぞに合わせます。



2. バッテリーパックを本体裏面のみぞにそって矢印の方向にすべらせ、バッテリーパックを本体にカチッと音がするまではめ込みます。



3. バッテリーパックを本体から取り外すときは、本体のリリースボタン周辺を持ち、リリースボタンを矢印1の方向に押しながらバッテリーパックを2の方向に抜き取ります。



リリース
ボタン

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで
充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

KENWOOD



Ni-Cd

使用後は
リサイクルへ

充電式電池

KENWOOD



Ni-MH

使用後は
リサイクルへ

充電式電池

KENWOOD



Li-ion Co 充電式電池

バッテリーパックについて

バッテリーの充電時期について (*1)

ディスプレイのバッテリー表示で充電の目安を知ることができます。
「バッテリー電圧低」の表示になったら早めに充電してください。

注意 ・ は販売店において、バッテリー表示ありに設定されている場合のみディスプレイに表示されます。

バッテリー表示

: バッテリー電圧高

: バッテリー電圧中

: バッテリー電圧低



バッテリー表示

また、次のような警告が出た場合はバッテリー電圧が基準値以下に下がっています。電源を切って充電してください。乾電池をご使用の場合は寿命です。新しい電池と交換してください。

- ・ 送信したときに話中/送信ランプが赤く点滅する
- ・ 送信できずに、警告音が鳴る

なお、充電に関しては、充電器の取扱説明書もよくお読みください。

バッテリーの持続時間 (目安)

持続時間は送信5秒、受信5秒、待受け90秒、バッテリーセーブ機能ONの連続使用にてテスト使用した場合の室温時の目安です。なお、プライオリティスキャンを使用している場合の持続時間は下記より短くなります。KNB-18N/19は0 以下、KNB-23Lは5 以下の低温で使用すると、持続時間が室温時より短くなります。

小エリア簡易無線機

送信出力	バッテリーパック(標準) KNB-18N	バッテリーパック(大容量) KNB-19, KNB-23L	アルカリ乾電池
0.2W時	約9h	約19h	約6h
1W時	約8h	約15h	約5h

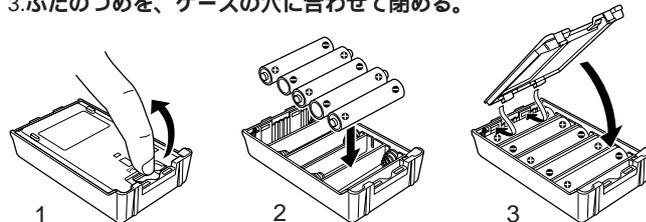
簡易無線機・一般業務用無線機

送信出力	バッテリーパック(標準) KNB-18N	バッテリーパック(大容量) KNB-19, KNB-23L	アルカリ乾電池
1W時	約8h	約15h	約5h
4/5W時	約4h	約9h	使用不可

バッテリーケース(オプション)の取り付け

1. 単3アルカリ乾電池(5本)をバッテリーケースに入れる

1. 矢印の方向に引いて、ふたを開ける。
2. 極性に注意して、乾電池を入れる。
3. ふたのつめを、ケースの穴に合わせて閉める。



2. バッテリーケースを取り付ける

取り付け/取り外しは、バッテリーパックと同じです。5頁を参照してください。

- 注意**
- ・ 本機にはマンガン電池はご使用になれませんのでご注意ください。
 - ・ 充電中に無線機を使用すると、故障の原因となることがあります。
 - ・ 単3形アルカリ乾電池は、5本とも同じ種類の新しい電池を使用してください。異なる種類や古い電池は使用しないでください。
 - ・ 長時間使用しない場合は、電池ケースを本体から取り外してください。
 - ・ バッテリーケースは、送信出力1W以下専用です。

アンテナの取り付け

付属のアンテナの根元を持ち、本体上面にあるコネクタに取り付けます。

注意 TCP-523のアンテナは本体に固定されています。



ユニバーサルコネクタのカバー取り付け

ユニバーサルコネクタを使用しないときは、付属のカバーをマイナスドライバー等でしっかりネジ止めします。



スピーカーマイクロホン/イヤホン付きクリップマイクロホン(オプション)の接続

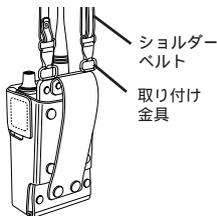
マイクロホンのコネクタを本体のユニバーサルコネクタにマイナスドライバー等でしっかりネジ止めします。マイクロホンをご使用の場合は、マイクロホンの取扱説明書もお読みください。



ショルダーベルト(オプション)の取り付け

ハードケースの左右にあるショルダーベルト取り付け金具に、ショルダーベルトを取り付けます。

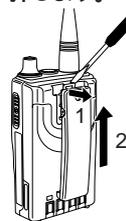
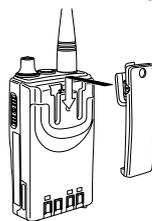
注意 ショルダーベルトに付属している金具は本機では使用しません。



ベルトフック(オプション)の取り付け/取り外し

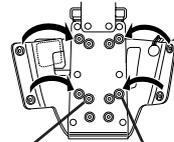
ベルトフックの取り付け金具をバッテリーパックのみぞに差し込み、矢印の方向へカチッと音がするまで押し込みます。

取り外しは、クリップ部分の金具をマイナスドライバー等で矢印1の方向へ浮かせながら、矢印2の方向へ押し込みます。



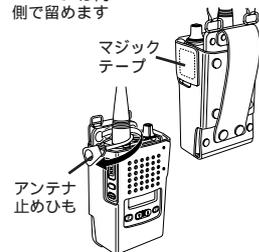
ハードケース(オプション)の取り付け

1. ハードケースのサイズは、背面のホックを留める位置により調節できます。取り付けるバッテリーパックやバッテリーケースに合わせて調節しておきます。
2. ハードケースに無線機を差し込み、ケースの形を整えます。
3. 右側面のマジックテープを、ユニバーサルコネクタに取り付けたオプションの形状に合わせて貼り付けます。
4. アンテナ止めひもでハードケースを固定し、無線機が抜け落ちないようにします。



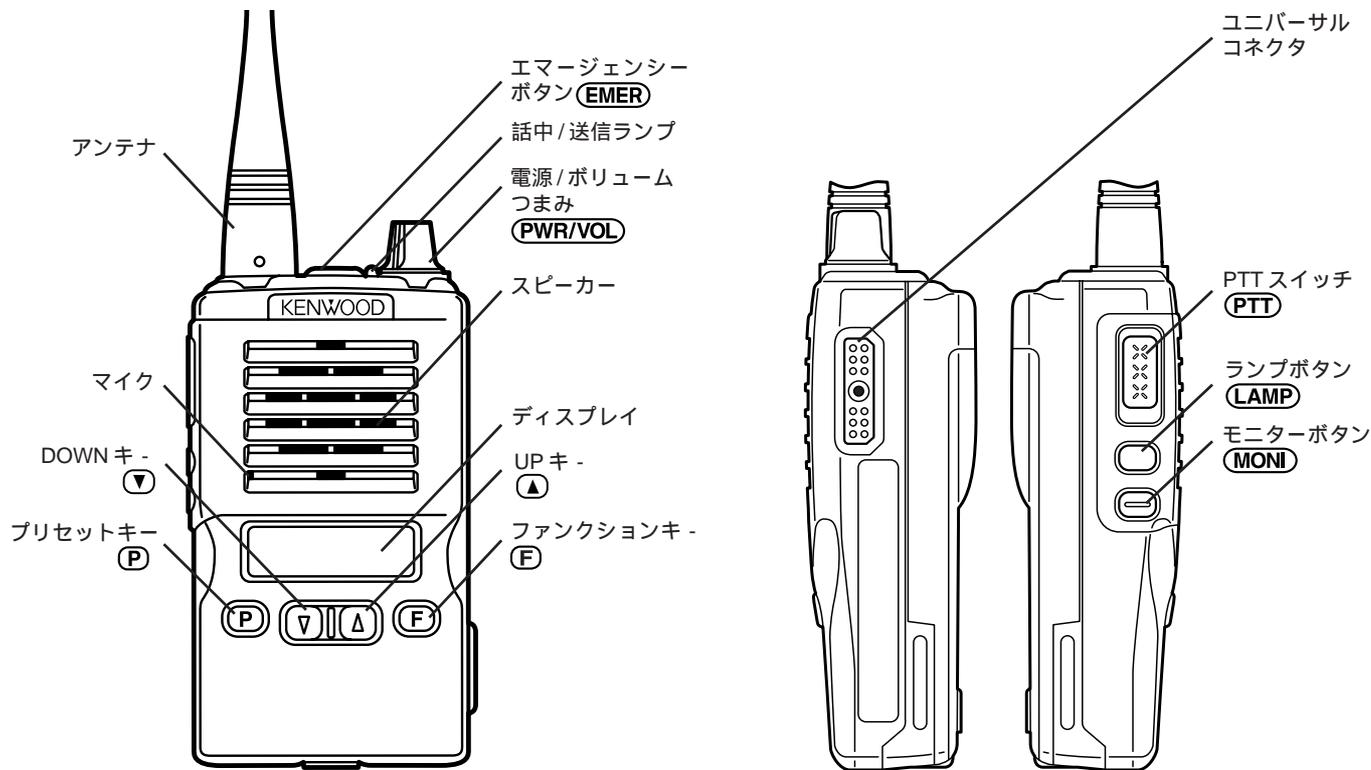
KNB-18N/
KNB-23Lは内
側で留めます

KNB-19は外
側で留めます



注意 このハードケースは本機にバッテリーパックKNB-18N、KNB-19、KNB-23LまたはバッテリーケースKBP-3を取り付けた時のみ使用可能です。

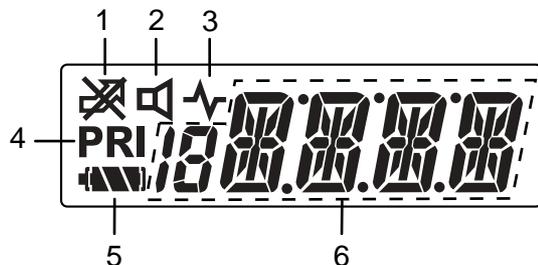
各部の名称



注意 アンテナの形状は機種により違いますのでご注意ください。

注意 上記の無線機は、オプションのバッテリーパックKNB-18Nが取り付けられた状態です。

ディスプレイ



- 1 (BUSY表示)
 選択したチャンネルが使用中のとき表示されます。
- 2 (スケルチ表示)
 (MONI)を押してモニターをONにすると表示されます。
 (MONI)を押した時の動作は設定により変わります。詳しくは
 買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 3 (スケルチOFF表示)
 (MONI)ボタンを押してスケルチがオープンすると表示されます。
- 4 **PRI** (プライオリティ表示) (*1)
 プライオリティ機能ON時に表示されます。
 (この機能は、簡易無線機では使用できません。)
- 5 (バッテリー表示) (*1)
 バッテリー電圧の高/中/低を表示します。
 (販売店での設定により表示可能となります。)
- 6 (状態表示)
 選択したチャンネルや選択したセレコール番号、または受信したセ
 レコールメッセージ番号がここに表示されます。ただし、表示内容
 は機能の設定状態により変わります。

基本操作

まちうけじゅしん

待受受信操作



- ・他人の通信を傍受し、その存在もしくは内容を漏らしたり、窃用しないでください。
- ・送信する前に必ず使用する周波数で受信し、他局が交信していないことを確かめてください。

1. **PWR/VOL**を右に回して電源を入れる

「ピーッ」と鳴って、初期設定時のディスプレイが表示されます。

- ・電源をOFFするには**PWR/VOL**を「カチッ」という音がするまで左に回します。



2. **▼/▲**を押して、チャンネルを合わせる（マルチチャンネルの場合のみ）

- ・**▲**か**▼**を押すたびに、チャンネル番号が変わります。押し続けると連続して変わります。
- ・受信すると話中/送信ランプが緑色に点灯し、ディスプレイは右の表示になります。
- ・「簡易無線機」及び「一般業務用無線機」でシングルチャンネルに設定してある場合は、チャンネルは変わりません。



ボリュームを調節する

受信の音量を調節します。

- ・ボリュームが最小時の音量は、販売店の設定により異なります。

1. **PWR/VOL**つまみを時計方向に回す

交信中の音声がかえった場合は、好みの音量に調節してください。

- ・信号を受信すると、話中/送信ランプが緑色に点灯します。何も聞こえない場合は**(MONI)**を押しながらノイズで好みの音量に調節してください**(MONI)**に「スケルチOFF」が設定されているときのみ可能です。)

バッテリーセーブ機能について

バッテリーの無駄な消費を防ぐため、待受受信状態で、信号が受信されずキー操作もしない状態が約10秒以上続くと、一定の比率で受信回路の電源のON/OFFを繰り返します。この機能をバッテリーセーブ機能といいます。スケルチが開くか、キーが押されると、バッテリーセーブの動作は止まります。バッテリーセーブ機能は販売店で設定されます。

- ・詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

送信操作



- ・送信する前に、アンテナがしっかり接続されていることを確かめてください。
- ・送信する前に必ず使用する周波数を受信し、他局が交信していないことを確かめてください。

1. **PTT**を押しながらマイクに向かって話す

話中/送信ランプ（High：赤色、Low：橙色）が点灯し、送信状態になります。

- ・マイクは口元から5cm程度離してください。近づけすぎたり、離れすぎたりすると、受信相手が聞き取りにくくなります。

連続送信防止機能について

連続して10分以上送信すると、強制的に受信状態に戻ります。送信を続けたいときは、一度**(PTT)**を離してから再度押し直してください。送信は、できるだけ短時間で、要領良く通話してください。

なお、タイムアウトタイマー（23頁参照）を設定してある場合、連続送信時間は5分以下になります。

閉局する

1. **PTT**を離す

- ・受信状態に戻ります。
- ・通信を終了し、閉局する場合は、無線機の電源をOFFにしてください。

使いこなす

キー操作出来ないようにする (キーロック)

携帯中などに誤ってキーが押されても、そのキーの入力を受け付けないようにできます。

ただし、次のキーはロックできません。

(PWR/VOL) (MONI) (LAMP) (PTT) (EMER)

1. (F)を押しながら電源を入れる
「ピーッ」と鳴って、ドットが3箇所表示されます。



ドット

2. 解除の場合は、いったん電源を切り、(F)を押しながら電源を入れる。

「ドット」表示が1個になり、キーロックが解除されます。

注意 キーロック設定後、キー操作するとエラー音(ピッ)が鳴ります。

ディスプレイの照明を点灯させる

暗い所で使うときなど、ディスプレイの照明を点灯できます。

1. (LAMP)を押す

- ・(LAMP)を押している間ディスプレイの照明が点灯します。
- ・点灯中キー操作すると、操作終了後約5秒後に消灯します。
- ・キーを離してから何も操作をしないと5秒後に消灯します。

注意 送信/受信の状態にかかわらず、照明は点灯します。

エマージェンシー(*1)

緊急事態発生時エマージェンシーデータを送信し、指定局に知らせる機能です。受信側は、エマージェンシーデータを受信するとピープ音と表示で緊急事態発生を知らせます。

・本機能は販売店の設定により使用可能となります。

送信側

1. (EMER)を2秒(注1)以上押す

エマージェンシーチャンネル(注1)に移行して、3回エマージェンシーデータを送信します。

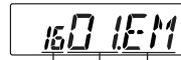
運用チャンネルに戻り、再度エマージェンシーデータを3回(注1)送信します。

受信状態に戻ります。

以後電源を入れ直すまで、スケルチは閉じたままになります。

受信側

エマージェンシーデータを受け取ると、送信側のセレコール番号を表示し、チャンネル番号 | エマージェンシー表示 | ピープ音が鳴り続けます。



チャンネル番号 | エマージェンシー表示 | セレコール番号(01)

(この間に相手のセレコール番号を確認します。)

セレコールOFFのとき

1. 何かキーを押す

1回目でピープ音が止り、2回目でエマージェンシー表示が消えます。

セレコールONのとき

1. 何かキーを押す

ピープ音が止ります。

2. (PTT)を押す

エマージェンシー表示が消えます。

または(P)を押す

登録した番号の呼び出し(23頁参照)に移行後、エマージェンシー表示が消えます。

または(F)を押す

セレコールメニューの選択(12頁参照)に移行後、エマージェンシー表示が消えます。



- ・簡易無線機または一般業務用無線機のシングルチャンネルで使用するときは、エマージェンシーチャンネルの設定はできません。
- ・受信側の運用チャンネルと送信側のエマージェンシーチャンネルが運用チャンネルが同じチャンネルに設定されていないと、エマージェンシーの受信動作はできません。

メニュー機能

各種の機能をメニューモードで設定できます。

メニューモードには2つの項目があり、セレコールメニューではメニューNo.1～8の機能、機能メニューではメニューNo.11～12の機能を選択して設定できます。

メニューモード *1：販売店にて設定されている場合の機能です。

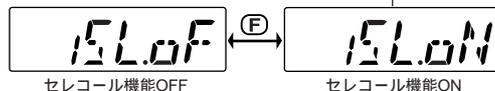
メニューNo.	表示	機能	参照頁
0*1	05ELC	セレコールメニューモード	12
1	15LOF	セレコール機能ON/OFF	12
2	2C000	個別呼び出し	14
		グループ呼び出し	15
		一斉呼び出し	17
		一斉割り込み呼び出し	18
3	3RBOF	不在着信	19
4	4MEM	メッセージメモリー	21
5	5MES	メッセージ伝送	20
6*1	6REP	メッセージ自動応答	22
7	7PSET	ワンタッチセレコール呼び出し	22
8	8GRP	グループ設定	16
10	10FUNC	機能メニューモード	12
11*1	11PROF	プライオリティスキャン	13
12	12NORM	データ専用チャンネル	13

- 注意**
- 販売店において機能が設定されていない場合は、セレコールメニュー、プライオリティスキャンの操作はできません。
 - メニューNo.6は販売店で設定されていない場合は表示されません。
 - メニューNo.11は簡易無線機では使用できません。
 - メニューNo.12は簡易無線機「TCP-523」のみの機能です。

セレコールメニューの選択

各種設定をメニューで行うとき、セレコールメニューモードの中から必要な機能のメニューNo.を選択します。

- F**を押す
セレコールメニューモードになります。
- F**を押す
セレコールON/OFFメニューになります。
- F**を押す
表示をoNにします。
通常モードに戻すときは表示をoFにします。



- ▼/▲**を押す
設定したい機能のメニューNo. (左表のNo.2～8) を選択します。

機能メニューの選択

機能の設定、変更をメニューで行うとき、機能メニューモードの中から必要な機能のメニューNo.を選択します。

- F**を押す
セレコールメニューモードになります。
- ▼/▲**を押す
機能メニューモードになります。
- F**を押す
プライオリティスキャン設定メニューになります。
- ▼/▲**を押す
設定したい機能のメニューNo. (左表のNo.11～12) を選択します。

プライオリティースキャン(*1)

運用中のチャンネルで待受けしながら、一定時間(注1)毎にプライオリティチャンネル(注1)をチェックします。プライオリティチャンネルで信号を受信すると、スキャンを一時停止して通話する機能です。通話が終了するか、一定時間(注1)信号の無い状態が続くと元のチャンネルに戻り、スキャンを再開します。

- ・運用中のチャンネルで信号を受信中は、スキャン動作は行いません。
- ・本機能は一般業務用無線機のシングルチャンネルと簡易無線機では使用できません。
- ・本機能は販売店の設定により使用可能となります。

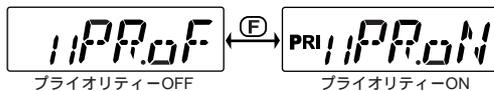
1. メニューNo.11の表示にする

12頁「機能メニューの選択」参照。



2. (F)を押す

表示を「oN」に設定します。



- ・プライオリティースキャン機能を使用しないときは表示を「oF」に設定します。
- ・プライオリティースキャン機能ON時は表示部に【PRI】が表示されます。



3. プライオリティチャンネルの信号を受信すると、スキャンを一時停止し、PRが表示される



4. (PTT)を押す

相手と通話してください。通話が終了するか、信号がなくなると、一定時間(注1)後に再びプライオリティースキャンを開始します。

PR点灯



(LAMP)を押しながら(PTT)を押すと、プライオリティチャンネルに移行して送信します。

データ専用チャンネル(TCP-523のみ)

データ通信のみを目的とした通信を行いたいときに使用します。通常の音声通信チャンネルからデータ専用チャンネルに切り替えます。

- ・本機能は小エリア簡易無線機「TCP-523」のみの機能です。
- ・データ専用チャンネルは19、20の2チャンネルです。

1. メニューNo.12の表示にする

12頁「機能メニューの選択」参照。



2. (F)を押す

押すたびに表示部が音声通信チャンネルとデータ専用チャンネルに切り替わりますので、設定したいチャンネルの表示にします。



3. 10秒間何もしない。または(PTT)か(P)を押す。

データ専用チャンネルに設定されて、表示部に【d】が表示されます。



データ専用チャンネル表示

4. (PTT)を押す

相手にデータを送ります。



- ・データ専用チャンネルでは、音声の送信はできません。
- ・データ専用チャンネルではプライオリティースキャンは設定できません。
- ・この機能をご使用になりたい場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

プライオリティースキャン
データ専用チャンネル
使いこなす

セレコール機能(*1)

セレコール機能とは相手局を呼び出すとき、個別にまたはグループごと、あるいは全局一斉にと自由に選択して呼び出すことのできる機能です。不在中に連絡が有ったことを知らせることもできます。

注意 本機能は販売店の設定により使用可能となります。くわしくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

個別呼び出し

呼び出したい相手局を個別に呼び出して通話できます。ただし、通話中の局を呼び出すことはできません。

1. メニューNo.2の表示にする

12頁「セレコールメニューの選択」参照。



セレコール番号

2. **F**を押す

セレコール番号設定画面になり、1桁目が点滅します。

例：セレコール番号「31」に設定



3. **▽**/**▲**を押す

相手のセレコール番号「31」の1桁目の数字を設定します。



4. **F**を押す

セレコール番号の2桁目が点滅します。



5. **▽**/**▲**を押す

相手のセレコール番号「31」の2桁目の数字を設定します。



6. **F**を押す

設定したセレコール番号が確定します。



7. **P**または**PTT**を押す

メニュー表示が解除されます。



話中/送信ランプが消えていることを確認して、

8. **PTT**を押す

話中/送信ランプが点灯(High：赤色、Low：橙色)します。

・相手局に信号が届くと【Cn(コネクト)】が表示されます。



相手局のセレコール番号

・【Er(エラー)】を表示したときは呼び出しは失敗です。
相手局のセレコール番号が表示されている間に、もう一度**PTT**を押してください。



・相手局のセレコール番号が消えたときは、始めからやり直してください。



リセットセレコールがFFの時

・呼び出された側はピーブ音が鳴り、呼び出した側のセレコール番号を表示して通話モードになります。**PTT**を押して話します。



セレコール番号30からの呼び出し

【Cn】表示を確認して、

9. **PTT**を押しながら話す

話中/送信ランプが点灯(High：赤色、Low：橙色)します。

10. 受信に戻るには**PTT**を離す

11. 呼び出しを終了するには**PTT**を押しながら**MONI**、または**▽**/**▲**を押す。あるいは**MONI**を1秒以上押す【Ed(エンド)】を表示し、個別呼び出しを終了します。



注意

- ・個別通話中の局を、他局が個別呼び出しすることはできません。呼び出した局は、呼び出し失敗になります。
- ・個別通話中の局を、他局がグループ呼び出しまたは一斉呼び出しすることはできません。

グループ呼び出し

個別局を最大10 (F0 ~ F9) のグループに分けて、グループ毎に呼び出して通話できます。他のグループには通話が聞こえません。

- ・1つの個別局は、最大6つのグループに属せます。
- ・グループの設定・変更は16頁の説明を参照してください。

1. メニューNo.2の表示にする

12頁「セレコールメニューの選択」参照。



2. (F)を押す

セレコール番号設定画面になり、1桁目が点滅します。

例：セレコール番号「F5」に設定



3. (▼)/(▲)を押す

1桁目を「F」に設定します。



4. (F)を押す

2桁目が点滅します。



5. (▼)/(▲)を押す

2桁目を「5」に設定します。



6. (F)を押す

設定したセレコール番号が確定します。



7. (P)または(PTT)を押す

メニュー表示が解除されます。



話中/送信ランプが消えていることを確認して、

8. (PTT)を押す

話中/送信ランプが点灯(High : 赤色、Low : 橙色)します。

- ・呼び出された側はピープ音が鳴り、呼び出されたセレコール番号を表示して通話モードになります。(PTT)を押して話します。



9. (PTT)を押しながら話す

話中/送信ランプが点灯(High : 赤色、Low : 橙色)します。

10. 受信に戻るには(PTT)を離す

11. 呼び出しを終了するには(PTT)を押しながら(MONI)、または(▼)/(▲)を押す。あるいは(MONI)を1秒以上押す

【Ed (エンド)】を表示し、グループ呼び出しを終了します。



通話中の局を、他局がグループ呼び出しまたは一斉呼び出しすることはできません。

グループ設定

自局が属するグループを登録したり、変更したりできます。

- ・1つの個別局は、最大6つのグループに属せます。
- ・設定できるグループ番号は、F0～F9の10通りです。
- ・グループメモリー番号はG1-G2-G3-G4-G5-GPがあります。なお、グループメモリー番号GPは優先グループ番号です。

1. メニューNo.8の表示にする

12頁「セレコールメニューの選択」参照。



2. (F)を押す

現在設定されているグループメモリー番号とグループ番号が表示されます。



グループメモリー番号 グループ番号

3. (▼)/(▲)を押す

設定したいグループメモリー番号を選択します。例：「G3」に設定



4. (F)を押す

グループ番号の設定になります。
例：「F0」に設定



5. (▼)/(▲)を押す

設定したいグループ番号を選択します。



6. (F)を押す

設定を確定し、次の設定待ちになります。



7. (P)または(PTT)を押す

メニュー表示が解除されます。



操作2～6を繰り返してG1～GPまでグループ登録できます。



セレコール通話状態の局を、他局が「グループ呼び出し」や「一斉呼び出し」で呼び出すことはできません。ただし、優先グループ番号に設定されている局を呼び出すと割り込み通話ができます。

セレコール番号について

セレコール機能を使うと、相手局を呼び出すとき、個別にまたはグループごとに、あるいは全局一斉にと自由に選択して呼び出すことができます。これらの機能を設定するときに使用するセレコール番号は、次のように分類されています。

00～99（個別番号）

相手局を個別に呼び出すときに設定します。

F0～F9（グループ番号）

個別局をグループに分けて、グループ毎に呼び出すときに設定します。

FF（一斉呼び出し番号）

通話中の局を除く、全ての個別局を一斉に呼び出すときに設定します。

FA（一斉割り込み呼び出し番号）

通話中の局も含めて、全ての個別局を一斉に呼び出すときに設定します。

一斉呼び出し

全ての個別局を一斉に呼び出して通話できます。
ただし、通話中の局を呼び出すことは出来ません。

1. メニューNo.2の表示にする

12頁「セレコールメニューの選択」参照。



セレコール番号

2. (F)を押す

セレコール番号設定画面になり、1桁目が点滅します。



3. (▼)/(▲)を押す

一斉呼び出しのセレコール番号「FF」の
1桁目を設定します。



4. (F)を押す

2桁目が点滅します。



5. (▼)/(▲)を押す

一斉呼び出しのセレコール番号「FF」の
2桁目を設定します。



6. (F)を押す

設定したセレコール番号が確定します。



7. (P)または(PTT)を押す

メニュー表示が解除されます。



話中/送信ランプが消えていることを確認して、

8. (PTT)を押す

話中/送信ランプが点灯(High : 赤色、Low : 橙色)します。

・呼び出された側はピープ音が鳴り、呼び出されたセレコール番号を表示して通話モードになります。(PTT)を押して話します。



セレコール番号FFで
呼び出された時

9. (PTT)を押しながら話す

話中/送信ランプが点灯(High : 赤色、Low : 橙色)します。

10. 受信に戻るには(PTT)を離す

11. 呼び出しを終了するには(PTT)を押しながら(MONI)、または(▼)/(▲)を押す。あるいは(MONI)を1秒以上押す

【Ed(エンド)】を表示し、一斉呼び出しを終了します。



一斉割り込み呼び出し

通話中の局も含めて、全ての個別局を一斉に呼び出して通話できます。

1. メニューNo.2の表示にする

12頁「セレコールメニューの選択」参照。



セレコール番号

2. **F**を押す

セレコール番号設定画面になり、1桁目が点滅します。

3. **▼**/**▲**を押す

一斉割り込み呼び出しのセレコール番号「FA」の1桁目を設定します。

4. **F**を押す

2桁目が点滅します。

5. **▼**/**▲**を押す

一斉割り込み呼び出しのセレコール番号「FA」の2桁目を設定します。

6. **F**を押す

設定したセレコール番号が確定します。

7. **P**または**PTT**を押す

メニュー表示が解除されます。

8. **PTT**を押す

話中/送信ランプが点灯(High : 赤色、Low : 橙色)します。

・呼び出された側はピープ音が鳴り、呼び出されたセレコール番号を表示して通話モードになります。**PTT**を押して話します。



セレコール番号FAで
呼び出された時

9. **PTT**を押しながら話す

話中/送信ランプが点灯(High : 赤色、Low : 橙色)します。

10. 受信に戻るには**PTT**を離す11. 呼び出しを終了するには**PTT**を押しながら**MONI**、または**▼**/**▲**を押す。あるいは**MONI**を1秒以上押す

【Ed (エンド)】を表示し、一斉割り込み呼び出しを終了します。



不在着信

無線機のそばを離れている相手と連絡を取りたいとき、信号を送って、着信があったことを伝えることができます。また、送った信号を取り消すこともできます。信号が届いたら【Sd(センド)】表示が返ってくるので、送られたことが確実にわかります。

- ・不在着信を設定をする前に、あらかじめ相手のセレコール番号を設定しておきます(14頁参照)。
- ・セレコール番号をFF(一斉呼び出し)、FA(一斉割り込み呼び出し)またはF0~F9(グループ呼び出し)に設定すると、不在着信データの設定はできなくなります。
- ・相手局が不在着信動作中(表示は【CA(コール)】)は個別呼び出しはできません。

1. 相手のセレコール番号を設定する
設定は14頁「個別呼び出し」参照。



相手のセレコール番号

2. メニューNo.3の表示にする
12頁「セレコールメニューの選択」参照。



機能がOFFのとき

3. **(F)**を押す

押すたびにoF-F1-F0を順に表示します。
送りたいデータの表示にします。

- ・F1: 不在着信音を鳴らして呼び出すとき。
- ・F0: 不在着信呼び出しを取り消すとき。
- ・oF: 不在着信機能をOFFにするとき。



呼び出すとき

4. **(P)**または**(PTT)**を押す

メニュー表示が解除されます。



呼出音の鳴る時間は、販売店ででの設定により次の3種類があります。

- ・不在着信音を連続で鳴らす。
- ・不在着信音を20秒間鳴らす。
- ・不在着信音は鳴らない(表示のみで知らせる)。

話中/送信ランプが消えていることを確認して、

5. **(PTT)**を押す

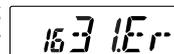
話中/送信ランプが点灯(High: 赤色、Low: 橙色)します。

- ・信号が届いたら「ブルルル」と鳴り、【Sd(センド)】が表示されます。

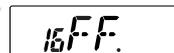


相手のセレコール番号

- ・「ビボビボ」と鳴って【Er(エラー)】が点灯したときは呼び出しは失敗です。相手のセレコール番号が表示されている間に、もう一度**(PTT)**を押してください。



- ・相手のセレコール番号が消えたときは、始めからやり直してください。



リセットセレコールがFFの時

不在着信を受信した局の操作

信号を受信すると不在着信音が鳴り【送信した局の番号】と【CA(コール)】が表示されます。



送信した局のセレコール番号

1. **(PTT)**を押す

呼び出した局と通話します。



- ・呼び出しに失敗したときは5秒後に待受け状態に戻り、リセットセレコール番号にセットされます。
- ・**(MONI)**を押したときは待受け状態に戻り、セレコール番号が「FF」にセットされます。
- ・受信した側の不在着信音を停止させるには、何れかのキー(**(LAMP)**を除く)を押します。

メッセージ伝送

個別呼び出し時に0～9までの番号を送受信できます。この番号にあらかじめ意味づけしておくことで、メッセージを伝えることができます。

- 例 1: 会社に電話してください。
2: 渋滞中で、電話できません。

相手に届いたら【Cn (コネクト)】表示が返ってくるので、送られたことが確実にわかります。

- ・メッセージ伝送を設定をする前に、あらかじめ相手のセレコール番号を設定しておきます。
- ・メッセージ伝送はセレコール番号が00～99に設定されているときのみ可能です。セレコール番号をFF、FA (一斉呼び出し) またはF0～F9 (グループ呼び出し) に設定すると、メッセージの設定はできなくなります。
- ・不在着信を受信し、表示が【CA (コール)】となっているときはメッセージ伝送を受けることはできません。
- ・メッセージと不在着信データを同時に送出することはできません。

1. 相手のセレコール番号を設定する

14頁「個別呼び出し」参照。

2C 03 1

相手のセレコール番号

2. メニューNo.5の表示にする

12頁「セレコールメニューの選択」参照。

SME5.

3. **F** を押す

メッセージ番号の設定モードになります。
例: メッセージ番号1に設定

SME5.0

メッセージ番号

4. **▽**/**▲** を押す

伝送するメッセージ番号を設定します。

SME5.1

5. **F** を押す

設定したメッセージ番号が確定します。

SME5.1

6. **P** または **PTT** を押す

メニュー表示が解除されます。

163 1. 1

相手のセレコール番号
メッセージ番号

話中/送信ランプが消えていることを確認して、

7. **PTT** を押す

話中/送信ランプが点灯(High: 赤色、Low: 橙色)します。

- ・信号が届いたら「ブルルル」と鳴り、【Cn (コネクト)】が表示されます。

163 1Cn

- ・「ピボピボ」と鳴って【Er (エラー)】が点灯したときはメッセージ伝送は失敗です。相手の番号が表示されている間に、もう一度**PTT**を押してください。

163 1Er

- ・相手局の番号が消えたときは、始めから操作をやり直してください。

16FF.

リセットセレコールがFFの時

- ・呼び出された側は、「ブルルル」と鳴って【送信した局のセレコール番号】と【メッセージ番号】を表示します。

1630. 1

送信した局の
セレコール番号
メッセージ番号

セレコールメッセージメモリー

着信したセレコールメッセージ（セレコール番号とメッセージ番号、またはセレコール番号のみ）を自動的にメモリーし、後から呼び出して確認できます。

メッセージメモリーの呼び出し

1. メニューNo.4の表示にする

12頁「セレコールメニューの選択」参照。



2. (F)を押す

メッセージメモリー表示モードになります。



相手のセレコール番号
メッセージ番号
メモリー番号

3. (V)/(^)を押す

押すたびにメモリー番号と共に着信データが切り替わります。



- ・メッセージはメモリー番号「1」のときが1番古く、2~9と数字が大きくなるに従って新しくなります。
- ・メモリー番号「0」のときは常に最新のメッセージになります。
- ・メッセージは最大10件までメモリーされます。それ以上の着信があった場合は、古いメモリーから順番に消去されます。
- ・メッセージが無くセレコール番号のみのときは、メッセージ番号の表示部が「..」となります。



- ・メッセージがメモリーされていない場合は動作しません。
- ・確認のみの場合、10秒間何も操作しないか(P)を押すとメニュー表示が解除されます。

メッセージを修正して送り返したいとき

上記に引き続いて操作します。

4. 相手のメッセージメモリーが表示されている状態で

(F)を押す

メッセージ番号が点滅します。



メッセージ番号6

5. (V)/(^)を押す

メッセージ番号を送りたい番号に変更します。



メッセージ番号5

6. (F)を押す

メッセージ番号が確定します。



話中/送信ランプが消えていることを確認して、

7. (PTT)を押す

セレコール番号の相手にメッセージを送り返し、呼び出すことができます。

8. 終了するには (PTT) を押しながら (MONI)、または

(V)/(^)を押す。あるいは (MONI) を1秒以上押す

【Ed (エンド)】を表示し、メッセージメモリーの送信を終了します。



メッセージメモリーが表示されている状態で (PTT) を押し、個別通信が成功した場合、呼び出したメッセージメモリーはクリアされます。

メッセージメモリーの全消去

1. 電源をOFFにする

全てのメッセージメモリーが消去されます。

セレコールメッセージ自動応答

不在中に呼び出されたとき、あらかじめ設定しておいたメッセージ番号を自動的に送り返す機能です。

1. メニューNo.6の表示にする

12頁「セレコールメニューの選択」参照。



2. (F)を押す

メッセージ自動応答設定モードになります。



3. (V) / (A)を押す

送り返すメッセージの番号を設定します。
例：メッセージ番号3



4. (F)を押す

メッセージ番号が確定します。



5. (P)または(PTT)を押す

メニュー表示が解除されます。

これで個別に呼び出されたら、設定したメッセージ番号を自動的に送り返します。



- ・自動応答メッセージ番号は「0」～「9」の1桁です。
- ・自動応答メッセージに「_」を設定すると、メッセージ自動応答機能はOFFになります。
- ・販売店において、メッセージ自動応答機能が「なし」に設定されているときはメニュー表示されません。

呼び出した側の表示

相手局のセレコール番号とメッセージ番号が表示されます。



ワンタッチセレコール番号呼び出し

よく使う個別呼び出し番号やグループ呼び出し番号を、あらかじめ登録しておくと、(P)を押すだけでその番号を呼び出すことができます。

呼び出し番号の登録

1. メニューNo.7の表示にする

12頁「セレコールメニューの選択」参照。



2. (F)を押す

登録番号設定モードになります。
例：登録番号「3」に設定



3. (V) / (A)を押す

設定したい登録番号の表示にします。
・登録番号は0～9の10通り有ります。



4. (F)を押す

セレコール番号の1桁目が点滅します。
例：セレコール番号「21」を登録



5. (V) / (A)を押す

セレコール番号の1桁目の表示にします。



6. (F)を押す

セレコール番号の2桁目が点滅します。



7. (V) / (A)を押す

セレコール番号の2桁目の表示にします。



8. (F)を押す

登録番号「3」にセレコール番号「21」が登録され、メニュー表示に戻ります。



操作2.から繰り返して登録できます。

9. **Ⓟ**または**Ⓟ**を押す
メニュー表示が解除されます。



登録した番号の呼び出し

1. **Ⓟ**を押す
押すたびに設定されているセレコール番号が登録番号0~9の順に表示されます。



セレコール 登録番号
番号

2. **Ⓡ**/**Ⓢ**を押す
登録番号を変更することができます。

話中/送信ランプが緑点灯していないことを確認して、

3. **Ⓟ**を押す
表示しているセレコール番号の個別呼び出しができます。
話中/送信ランプが点灯(High：赤色、Low：橙色)します。
相手に信号が届くと【Cn(コネクト)】が点灯します。



登録した番号の呼び出しを行ってから5秒間何も操作しない場合は、登録番号の表示を解除し、リセットセレコール番号に戻ります。

その他の機能(*1)

次のような機能もあります。これらの機能は販売店においてのみ設定可能です。詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

リセットセレコール

通常使用するセレコール番号をリセットセレコール番号に設定しておくと、他のセレコール番号で呼び出して、終話または呼び出しに失敗して5秒後自動的にリセットセレコール番号に戻る機能です。

ビープ音のON/OFF

キー操作時のビープ音を鳴らさないようにする機能です。静かに使いたい場所ではOFFにすることができます。

ビープ音量設定

ビープ音を大/小に切り替える機能です。イヤホンを使用する時はビープ音を小に設定すると聴きやすくなります。

タイムアウトタイマー

一人の人がチャンネルを長時間占有しないように、一定時間以上送信を続けたとき、自動的に受信状態に戻す機能です。設定できる時間は次の通りです。

- ・タイムアウトタイマー制限時間：0~300秒(STEP=30秒)
連続送信できる時間の設定です。
- ・ロック予告時間：0~250秒(STEP=10秒)
送信を制限時間迄続けたとき予告音を鳴らす時間の設定です。
- ・送信ロック時間：0~900秒(STEP=30秒)/解除なし
送信を制限時間まで続けると送信出来なくなり、次の送信が可能となる迄の時間設定です。

なお、タイムアウトタイマーの設定がOFFの場合でも、連続して10分以上送信すると強制的に受信状態に戻ります。

スケルチレベルの調節

スケルチの動作レベルを調節する機能です。信号の無いチャンネルを受信したとき雑音が多かったり、信号は強くても音声途切れがちな時などに設定を変更すると使いやすくなる場合があります。

使用例：

見通し距離100m以内の近距離通話やパソコンなどOA機器の近くで使用する場合は設定値を大きくしてください。

送信出力

送信出力はHighまたはLowに設定できます。出力により送信時点灯する「話中/送信ランプ」の色は次のようになります。

Highに設定時：赤色に点灯

Lowに設定時：橙色に点灯

使用例：

見通し距離100m以内の近距離通話などで使用する場合は、Lowパワーで使用すると他局への妨害を防ぐことができます。

スケルチオ - プンの遅延機能

送信開始時に発生する識別データ信号を聞こえなくするために、スケルチのオープン時間を遅らす機能です。

マイクミュート解除音

送信開始時は識別データ信号を送信する間マイク出力は停止されません。したがって、PTTを押してすぐ通話を始めると頭切れが生じてしまいます。これを防止するために識別データ信号の送信が終了するとマイクミュート解除音を鳴らし、通話の開始を促す機能です。

セレコール動作ミュート解除条件選択機能

セレコール機能を使用時、ミュート解除の条件を次の2つの中から選択できる機能です。

・セレコール一致時アンミュート

混信を避けるために電波の飛びは犠牲にできる地域（都市部）で有効です。

・セレコール不一致時ミュート

混信は有っても電波の飛びを重視する地域（地方）で有効です。

ビジーチャンネルロックアウト

設定されたチャンネルを他の局が使用中の場合は、そのチャンネルの送信を禁止する機能です。

スケルチOFF/モニター

手動でスケルチを開く、またはシグナリングを解除し、受信信号の状態をモニターする機能。

(MONI)に「モニタモメンタリ」、「モニタロック」、「スケルチOFF」のいずれかを設定することができます。

運用上の注意

免許状

免許状は必ず無線機のそばに備えてください。
簡易無線機は電波法の定めにより封印されています。この封印をはがすと型式検定合格の効力を失いますので、封印は絶対にはがさないでください。

使用上の制限

通話は免許状に記載された次の事項の範囲内で行わなければなりません。

- 1.目的
- 2.相手方
- 3.通信事項

また、無線機は他人に貸したり、他人のために使用することは原則として出来ません。

免許の有効期限

免許状に記載してある有効期間が過ぎると、無線局の運用はできません。

再免許の申請

引き続き運用する場合は、有効期間が終了する6ヶ月前から3ヶ月前までの間に、再免許の申請をしなければなりません。

免許ならびに再免許の手続きはお買い上げの販売店にご相談ください。

免許の申請その他の手続き

免許の申請や下記の手続きは、お買い上げの販売店にご相談ください。

再免許の申請

- 免許証の記載事項に変更が生じる場合の手続き
- 免許証が破れたり、汚れたり、紛失した場合の再交付申請
- 無線設備を変更したり、新しいものに替える場合
- 無線局を廃止する場合
- その他

故障かな？と思ったら

次のような症状は故障ではありません。下の表を参照し、該当する項目を確認してください。

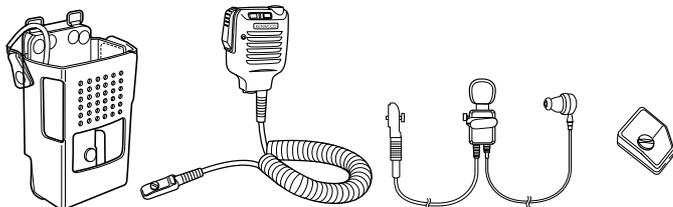
それでも具合が悪いときは、ご使用を中止しお買い上げの販売店または、当社サービスセンターへお問い合わせください。

症状と処置

症状	原因	処置
(PWR/VOL)を回しても電源が入らない。	1.電源の電圧が下がっている。	1.バッテリーバックを充電してください。
受信音声が聞こえない。 (注意) 右記2～4は、販売店の設定によっては、該当しないことがあります。	1.音量を絞っている。 2.シグナリング・スケルチ(CTCSS/DCS)のコードが違う。 3.セレコールのIDが違う。 4.受信波が弱い。	1.音量ボリュームを調整する。 2.販売店にご相談ください。 3.販売店にご相談ください。 4.(MONI)ボタンを押す。
送信できない	1.スピーカーマイク口ホンの接続がはずれている。 2.連続送信防止機能が働いている。 3.セレコール信号が相手に認識されていない。	1.スピーカーマイク口ホンを接続する。 2.販売店にご相談ください。 3.セレコールをOFFにする。
個別のセレコール番号を設定しているのに、他局の通話が聞こえる。	1.他局が近くで同じセレコール番号を使用している。	1.販売店にご相談ください。

アクセサリ（オプション）

本機には下記のオプションが用意されています。

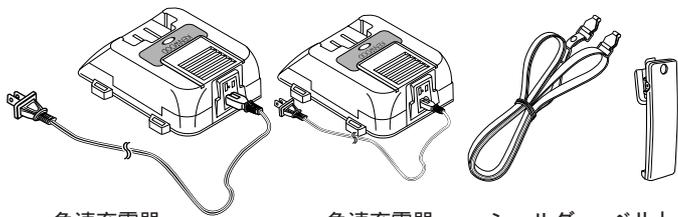


ハードケース
KLH-82

スピーカー
マイクロホン
KMC-29

イヤホン付
クリップ
マイクロホン
EMC-4

イヤホン
ジャック
アダプタ
KEJ-1



急速充電器
KSC-22R (注1)

急速充電器
KSC-27R

ショルダー
ベルト
KSB-1

ベルトフック
KBH-9



ニッケル水素
バッテリーパック
(標準)
KNB-18N

ニカド
バッテリーパック
(大容量)
KNB-19

リチウムイオン
バッテリーパック
(大容量)
KNB-23L

バッテリー
ケース
KBP-3

(注1) : KSC-22RでKNB-23Lの充電はできません。

定格

		TCP-123		TCP-223-450	
型名		TCP-123CT	TCP-123FT	TCP-223CT	TCP-223FT
送信出力		1W ~ 5W		1W ~ 4W	
チャンネル数		3	16	5	16
周波数		指定の9波 中3波	142 ~ 162.040MHz	指定の35波 中5波	450 ~ 470 MHz
消費電流	送信時	1.9A			
	受信時	300mA			
	受信待受時	75mA			
使用電源	7.2Vバッテリーパック (KNB-18N/19) 7.4Vバッテリーパック (KNB-23L)				
寸法 (突起含まず)	56(W)99.5(H)26.4(D) [mm] (KNB-18N装着時)				
質量	279g		277g (KNB-18N装着時/アンテナ含む)		

		TCP-223-400	TCP-223-360	TCP-523
型名		TCP-223FT	TCP-223FT	TCP-523
送信出力		1W ~ 4W		0.2W/1W
チャンネル数		16	16	20 (注2)
周波数		400 ~ 420 MHz	360 ~ 380 MHz	348.5625 ~ 348.8MHz
消費電流	送信時	1.9A		0.9A
	受信時	300mA		
	受信待受時	75mA		
使用電源	7.2Vバッテリーパック (KNB-18N/19) 7.4Vバッテリーパック (KNB-23L)			
寸法 (突起含まず)	56(W)99.5(H)26.4(D) [mm] (KNB-18N装着時)			
質量	277g (KNB-18N装着時/アンテナ含む)		259g (KNB-18N装着時)	

(注2) : データ専用の2波を含む。

メモ欄

個別番号

番号	相手局名	番号	相手局名

メッセージ番号

番号	メッセージ
0	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

保証とアフターサービス（よくお読みください。）

【保証書（別添）】

この製品には、保証書を（別途）添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめ上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

【保証期間】

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、営業所へお問い合わせください。（お問い合わせ先は、添付の“ケンウッドサービス網”をご覧ください。）

商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

東京:電話(03)3477-5335 FAX(03)3477-5334(受付時間AM9:00～PM6:00)

大阪:電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308(受付時間AM9:00～PM6:00)

（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます。）

修理を依頼されるときは

25ページの“故障かな？と思ったら”に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、ケンウッドのサービスセンターへお問い合わせください。

修理に出された場合、設定されたデータが消去される場合がありますので、別途お客様御自身でお控え下さいますようお願いいたします。また、本機の故障、誤動作、不具合等によって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、ケンウッドは一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

【保証期間中は】

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、営業所が修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

【保証期間が過ぎているときは】

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。修理をご依頼のときは、製品名、製造番号、お買い上げ日、故障の状況（できるだけ具体的に）、ご住所、お名前、電話番号をお知らせください。

【修理料金の仕組み】（有料修理の場合は次の料金をいただきます。）

技術料：

故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代：

修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

便利メモ

お買い上げ店

TEL ()

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

アフターサービスのお問い合わせは、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、営業所へお問い合わせください。